

川越高等学校 Q & A

Q 1 : 「探究」とは何ですか？

A 1 : 興味関心のある事柄に対して、自ら「問い」を立て、調べたり考えたりして、答えを導き出そうと取り組む学習です。

【進め方】: 課題の設定 → 情報の収集 → 整理・分析 → まとめ・表現

Q 2 : 今までの「普通科」や「国際文理科」とは違うのですか？

A 2 : これまでは、「普通教育を主とする学科」は、「普通科」だけでしたが、令和 4 年度から、「普通科」以外にも「学際領域学科」や「地域社会学科」という学科の設置が可能となりました。本校の「探究科」はこの「学際領域学科」の一つにあたります。「国際探究科」は、「国際文理科」と同じ「その他学科」にあたり、どちらの新学科も 5 教科を万遍なく学習したうえで、基礎的知識・技能を活用した、より発展的な探究型学習に取り組む学科です。

Q 3 : 「学際領域学科」とは？

A 3 : 特定の学問分野だけでは対応できない現代的な諸課題（環境問題、貧困対策など）に対し、複合的な学問分野の視点から課題の解決をめざして取り組む学科です。また、大学等との連携・協力により最先端の学びに重点的に取り組む学科でもあります。

Q 4 : 大学入試への対応は？

A 4 : 今まで通り 5 教科を中心とした学習は変わらず、一般選抜で大学に合格するための学習は継続されます。さらに、近年の大学入試改革により募集枠の広がる「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」に対応し、「探究的な学習」の取組を活用することでこれまで以上に一人ひとりの進路希望の実現につながります。

Q 5 : 国の DX ハイスクール事業とは

A 5

- ・ 令和 6 年度から令和 10 年度までの 5 年間の事業
(令和 6 年度の予算各校上限 1,000 万円)
- ・ デジタル等分野を支える人材育成のため、情報、数学等の教育を重視する教育課程を編成したり、ICT を活用した文理横断的、探究的な学びを推進する学校に対して、必要な環境整備に係る経費を支援するものです。

Q 6 : 「探究プログラム」とは？

A 6 : 以下の①と②の科目により構成

科目名	1 年	2 年	3 年	合計
① 探究発展Ⅰ～Ⅲ	1 単位	1 単位	1 単位	8 単位
② 総合的な探究の時間	2 単位	2 単位	1 単位	

①「探究発展Ⅰ～Ⅲ」 新設

- ・ 学年の枠を越えた縦割りグループを編成し、探究的な学習に必要なスキルを学ぶ
(データサイエンス、フィールドワーク、ミニ探究)

②「総合的な探究の時間」 継続

- ・ 授業時間数を増加 (合計 3 単位→5 単位へ)
- ・ 国内外の社会課題の解決に取り組むもの

Q 7 : 学校設定科目「データサイエンス」とは

A 7

- ・ 市場調査、気象予報等のデータ活用を通して、データ分析に係る知識や技能を習得
- ・ 実社会において活用できる情報利活用能力を習得します。

※「学校設定科目」とは、文部科学省が設定した科目以外の科目のこと。地域、学校及び生徒の実態、学科の特色等に応じ、各学校において設定